

2019年7月10日

各 位

株式会社 みなと銀行
みなとキャピタル 株式会社

「みなと成長企業みらいファンド」による投資実行について

関西みらいフィナンシャルグループのみなと銀行（頭取 服部 博明）他が設立しました「みなと成長企業みらいファンド投資事業有限責任組合」は、2019年3月、株式会社日本医療機器開発機構（本社：東京都中央区、以下同社）への投資を実行しましたのでお知らせします。

同社は、アメリカ食品医薬品局（FDA）において日本人として初の医療機器審査官を務めた内田毅彦氏が、2012年9月に設立した医療機器インキュベーション事業会社です。同社は医療現場や大学などの研究機関等にある医療機器に関する技術や能力を集約し、開発から販売までの事業化を一貫してサポートしています。

また、同社は神戸医療産業都市での「医療機器開発コンソーシアム勉強会」の事業受託を通して、神戸発の医療機器創出に向けた支援のほか、神戸医療産業都市ベンチャー支援コンソーシアム会議のメンバーとして、ライフサイエンス分野のベンチャー企業の発掘・育成にも携わってきました。

今回の投資は、国内の医療機器分野（及び周辺事業）を活性化し、みなと銀行グループと同社との連携により、神戸医療産業都市進出企業への支援体制強化にもつながることから投資を決定したもので、資金は現在開発中の医療機器の事業化、新規案件の発掘、販路拡大等に充当するものです。

当行グループは、今後もファンドの出資やコンサルティング活動を通じて、成長産業を積極的に支援してまいります。

【投資案件の概要】

投資先名	株式会社日本医療機器開発機構 代表取締役 内田 毅彦
所在地	東京都中央区日本橋本町二丁目3番11号 日本橋ライフサイエンスビルディング 601号室
事業内容	・医療機器インキュベーション事業 ・医療機器の研究開発、製造販売 ・コンサルティング業務
投資額	約30百万円
投資形態	第三者割当増資

以 上